

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

西暦 2022 年 7 月 14 日作成 第 1.0 版

研究課題名	高齢者心不全患者に対する CPAP (持続陽圧換気) の効果検討（横浜市消防局データ解析）
研究の対象	横浜市消防局・横浜市 MC（メディカルコントロール）協議会によって抽出された行政資料を用いて分析する研究です。
研究の目的	重症心不全患者に現場で使用する CPAP（Continuous Positive Airway Pressure：持続陽圧換気）の有用性を検証することを目的としています。
研究の方法	提供されたデータを用いて、CPAP による酸素化に関し探索的に検討します。
研究期間	研究機関の長の許可日 ～ 西暦 2027 年 3 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の 項目	【情報】 ・搬送時間情報（覚知、現着、病着時間） ・現場でのバイタルサイン（意識レベル、心拍数、呼吸数、体温、血圧、瞳孔） ・ドクターカー実施処置（CPAP、酸素投与、気管挿管、心電図、血液ガス分析、鎮静） ・救急隊活動（酸素投与、気管挿管、静脈路確保、血糖測定、心電図、薬剤投与、トリアージ）
試料・情報の 授受	本研究では、横浜市消防局・横浜市 MC（メディカルコントロール）協議会に登録されているデータの提供を受けて実施します。 データを提供される際は、個人を特定できる情報を含まないデータセットを、CD-R で提供を受けます。
個人情報の管理	横浜市消防局・横浜市 MC（メディカルコントロール）協議会から提供されているデータは、個人を特定できる情報を含みません。
試料・情報の 管理について 責任を有する 者	研究責任者：附属市民総合医療センター高度救命救急センター 竹内一郎
利益相反	利益相反とは、研究成果に影響するような利害関係を指し、金銭及び個人の関係を含むものです。 本研究は、大学の基礎研究費を用いて行います。開示すべき利益相反はありません。
研究組織 （利用する者）	【研究機関と研究責任者】 附属市民総合医療センター 高度救命救急センター （研究責任者）竹内一郎

情報公開用文書（附属市民総合医療センターで実施する医学系研究）

（単施設研究用）

の範囲)	【既存試料・情報の提供のみを行う機関と責任者】 該当なし
<p>本研究に関するご質問・ご相談等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。</p> <p>ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますので下記連絡先までお申出下さい。</p> <p>本研究では、個人を特定できる情報を含まないかたちで情報の提供を受けます。当院で個人を特定することができないため、研究利用への拒否の連絡をいただいた際対応いたしかねますことをご了承ください。</p>	
問合せ先： 〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 高度救命救急センター（研究責任者）竹内一郎 電話番号：045-261-5656（代表）	